

4年間の子ども食堂活動を振り返って —第3の居場所づくり

し、大学進学を機に

かせています。

名寄に came ました。新

今回は、その中で

たな土地での生活、

も1年生の頃から活

初めての一人暮らし、

動している子ども食

し、知り合いがいな

堂について書こうと

いなど環境が大きく

思います。

変わり、始めは不安

名寄市立大学には、

と楽しみでいっぱい

子ども食堂サークル

でしたが、大学で

があり「子ども達に

きた友人や名寄の皆

とって家庭でも学校

さんの温かさに触

でもない第3の居場

れ、興味のあること

所づくり」をテーマ

やボランティア等に

に市内の小中学生を

積極的に取り組むこ

対象に子ども食堂を

とができ、とても充

開催しています。

実した大学生活を過

現在は、新型コロナナ

とても嬉しく、自然
と笑顔になります。

そして、私たち大

学生とって子ども達

と触れ合える機会は

とても貴重で、この

活動を続けていく中

で、子ども達だけで

なく大学生にとつて

も第3の居場所にも

なっているのではな

いかと思っています。

また、居場所づ

くりには何か特別な

ことは必要なく、自

分も自然体のまま、

ただ一緒に過ごす時

間が大切だと思いま

した。これからも子

ども食堂を開催して

いくことで誰かの居

場所になれたらとて



も嬉しく、そのよう

な場所にしていきたく

いと思っています。

大学卒業後は名寄

を離れる予定です

が、名寄で学んだこ

とを忘れずに次行く

謝申し上げます。

栄養学科4年

寺井琴美

地域でも
地域の方
々と関わ
り、誰か
の居場所
になれる
ような活
動に関わ
っていき
たいなど
思ってい
ます。こ
の場をお
借りし
て、名寄